

東藥會報

昭和三年七月二十七日 星期三
東京市東區東區
發行所 東京市東區東區
印刷所 東京市東區東區
地番 東京市東區東區
部地 東京市東區東區

東藥會支部成立を期す

月刊東藥會報發刊以來恰度一年を経過して、實に本報は一年紀念號に當つてゐる。すきこし方を振返る時吾人の歩みのいとも小さかつた事を思ふ。會報としてもその編輯に頁數に何等の進歩も發達も示してゐない。然し吾人の欲快に耐えない所のものは、この會報を基礎として、の會報を中として幾多の愛校運動の起つたことである。

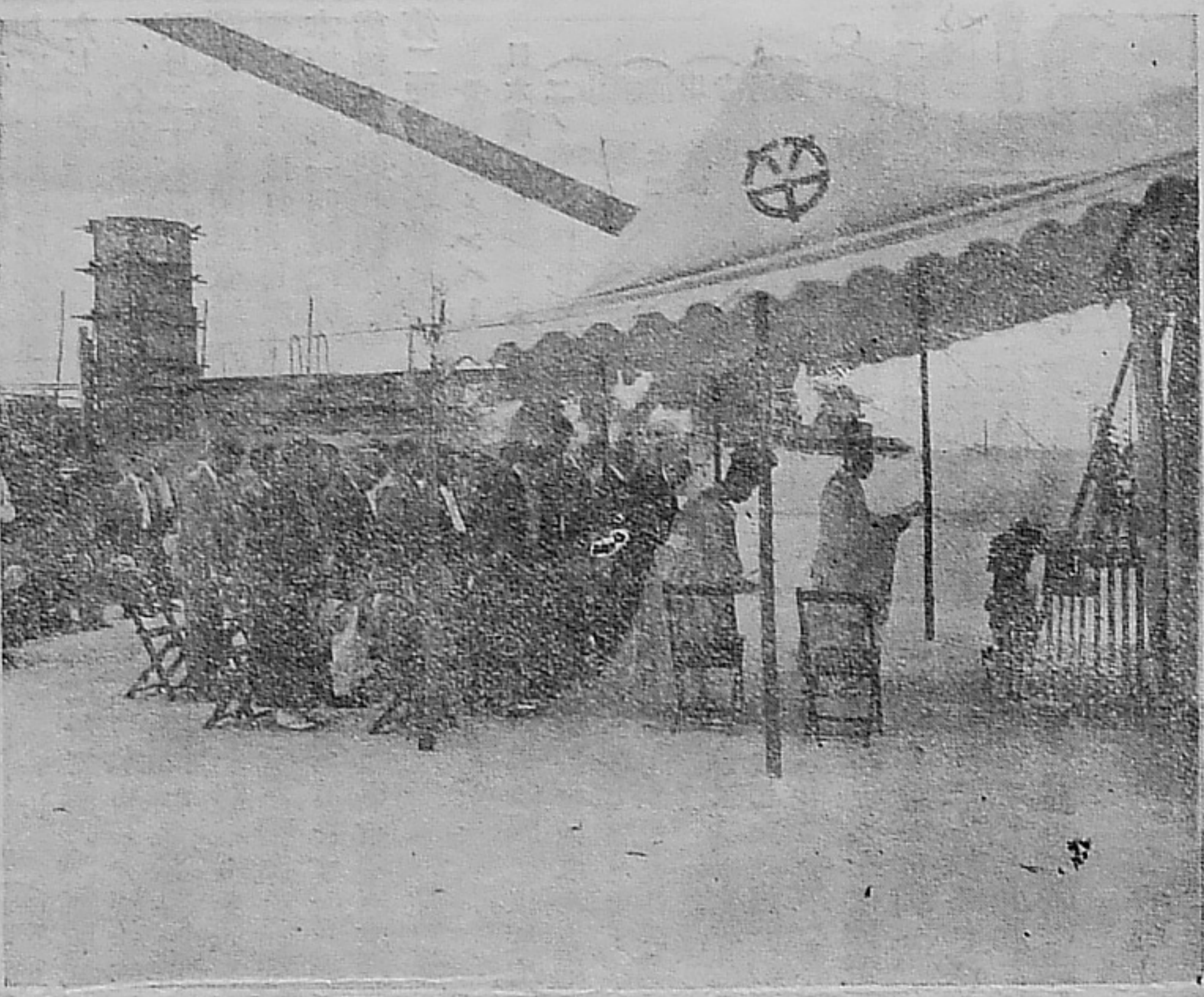
内には自ら顧て何の發展も見られない吾人も、外遠くこの會報の行き渡る限りに於て東藥會支部發會式、第何回卒業生同級會の開催されたといふことは、本當に御同慶の至りとしてよろこんでゐる所以のものであり、そしてそこにいくらかなりとも本會報が與つて力あつたことを考へれば、内に貧弱な吾人も外に幾分奮起するを得た次第である。

支部發會式、同級會例會。かうしたのも會報に記載される記事としては唯數行のものに過ぎない。然し小さい、支々脈々のものが集つてこそ始めて東藥會といふ有機體をつくり出すのである。

新校舍上棟式

本校新築の作業は着手以來諸事順調に進捗し、外廊は既に竣りて四層樓の偉容は柏木原頭

新校舍上棟式



建築彙報

新築工事は豫定の如く進捗し三階の天井及び屋上庭園のコークリーを打つてから正面玄関の絶頂には時計臺兼用の眺望室が地上より六十五尺の高さに築かれ其の後方に三角形に相對立して上水タンク室と屋上庭園への階段室とが排列せられ目障りであつた假柱も取除けられ従て内部の造作工事も窓枠を取付けつゝあると共に衛生設備排水工事水道瓦斯の敷設は二階の部分迄完結を見るに至り左官の仕事であ

を壓し四、五を睥睨してゐる七月十二日午後二時より豫定の如く上棟式の盛儀がいと厳かに執行された。正午頃より學生及び出身者諸君は三々伍々セメントの匂ひに清新の氣のたゞよふ新舎内の各室を巡回して母校の發展に微笑せられてゐた。定刻

- 上棟式次第
- 一、一同着席
 - 一、修校
 - 一、降神(饗神)
 - 一、四方被ひ
 - 一、祝詞奏上
 - 一、玉串奉奠
 - 一、齋主
 - 一、池口校長
 - 一、木子設計監督主、竹中請負主
 - 一、來賓總代、長井義典氏、鈴木三郎助氏、小西新兵衛氏、荻村武郎氏

會 通 信

東藥會支部便り

東藥會千葉縣支部發會を見るべく盡力せられつゝある川奈部新之助、三井所清造の兩氏には母校より東藥會庶務萩原氏を招いて事務打合せをなした次で千葉市の小池敬三郎氏を訪問して諒解を求め後船橋に於て懇親の宴を開き再會を約して散會す。

東藥會支部通信

- 朝 鮮
- 一、職員總代、生徒總代
 - 一、昇神(饗神)
 - 一、一同退席

東藥會評議員會

七月二十三日午後二時 本校講堂に於て開催 劈頭池口會頭より當日の議題たる新校舍落成

小佐野春吉君

第四十二回卒業生(舊會員)は多年山梨縣技手として精勤の閑へ高かりしが努方空しからず去る六月技師に昇任せられ先般上京前同窓會員の觀迎會を催し君の前途を祝福した。

小山氏歸朝

第四十二回卒業生(舊會員)小山近由氏は藥劑師にして齒科醫師なるが大正十二年五月申而開業中の淺草田島町の藥局齒科醫院を譲り齒科醫學研究の爲め歐米に滞在研學中の處過歸朝し左記へ開業した。

校歌に就いて

夕陽まさに西山に没せんとして、戦の後のスタンダードを、赤々と染むる時、勝利の喜びに、涙して叫ぶ感激の校歌！若人の生命は實に感激にあり、晨は上野の森に、夕べは不忍の畔りに、よみそれが喜びに、たまたまた悲しみに、たまたまた高らかに歌ひて、青春に泣き、若さに笑ふ。

凡そ一國の存在に於て、必ず國歌あるが如く、一校の存在に於ても、その學校をシンボライズすべき校歌の必要あるは言ふまでもない。然るに、四十有餘年の歴史を誇る本校に於て、共に祝ひ、且つ共に誓ふ入學の日に、或は新しき人、舊き人、互に語り親しむ創立紀念日に、或は業成りて、實社會への一步、目出度き卒業の日に、我々の心から歌ふべき校歌の存在しない事は、如何に寂しく、又物足りないであらうか。この事實は先輩諸兄が、誰しも感じ今や柏木原頭に、四層樓の新校舍はその壯を誇らんとして、校風刷新の機に當り、我々在校生一同は茲に奮然として起ち、校歌の作成を期せん。されどその完成は、先輩諸兄の盡力に待つ所甚だ多し。希くは我々在校生の意を諒し、母校の爲に、應分の御援助あらん事を切望する次第であります。

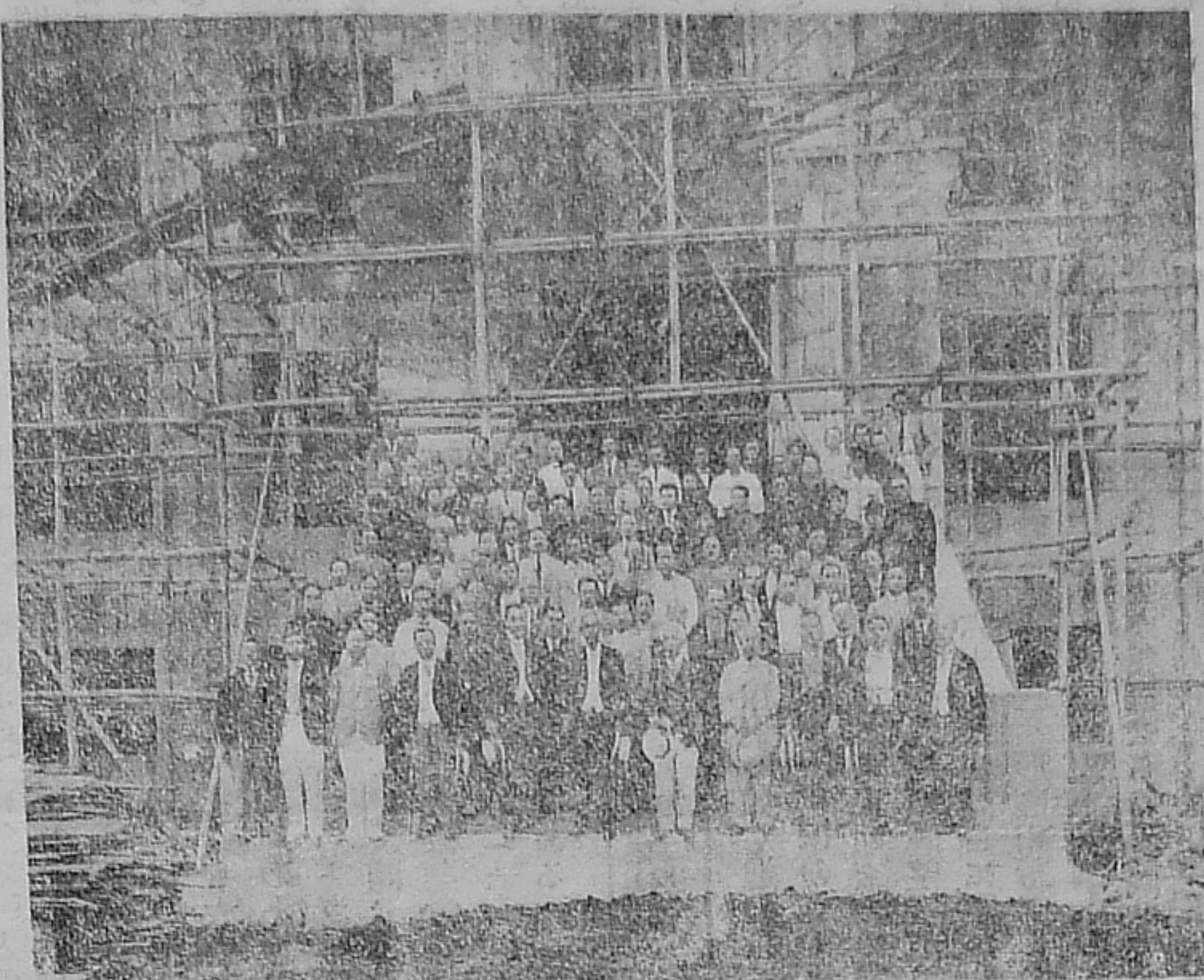
昭和三年 七月

東藥會在校部

出身部各位

- 一、一口金五十錢とし、一口以上御申込み下さい。
- 一、便宜上振替は東京二八七一〇番東京藥學專門學校宛で通信振込に「校歌寄附」と御書き下さい。
- 一、寄附者は本紙上に發表して受領書に代へます。
- 一、電話またはハガキ申込結構です。

正面玄関に於ける紀念撮影



在校部報

野球部々報

委員記

都下醫藥野球リーグ戦は五月廿一日、田園調布球場に於て華々しく大蓋を切れり。

吾が野球部は練習不足の懸念ありしが、諸先輩の後を新進鋭鋭の士にて堅め、對東醫との一戦に見事之を破破し意氣大いに昇れり。

續く、日醫大、日大齒を破竹の勢ひにて一蹴し昨年度優勝校日齒を最後迄追撃し彼をして顔色なからしめしが武運拙く惜しくも長蛇を連し、名譽ある優勝旗を得ざりしは残念なり。

されど主將松澤の明晰なる指導加ふるに選手一同の力闘は彼の名投手濱野先輩を始め多くの先輩の残せし歴史に恥じざる戦績を記したり、共に打撃率の如き主將の四割三六二厘を筆頭に各

庭球部々報

町田、小島記

花々しかつた今シーズンの幕を閉じました。僅か五月、六月の二ヶ月の間に對高麗戦を皮切りとして對日大齒科、拓殖大學、明薬、大正、美校と對校試合六回の多きに上りました。

試合の度毎に選手の技倆の一段と進歩して行く様は喜びに堪へません。此處に今シーズンの成績を略述して我が部の戦跡を辿る事といたします。

春季リーグ戦

五月二十六日、二十七日の兩日關東大學専門學軟球聯盟春季爭霸戦が行はれました。本校は第一回戦に於て日本大學齒科と對戦し斷然之を撃破して第二回戦出場権を得ました。

當日のメンバー

日大齒 本校
(二ノ宮) 山田 0
清島 2
寺島 1
津水 0
鈴木 0
中邊 0
渡邊 0

第二回戦は五月二十七日日比谷公園コートに開かれました。當日は風も極く静かで空は限なく晴れ渡り絶好のコンディション。第二回戦の相手は東都一流の強チームとして鳴る拓殖大學でありました。第一回戦に於て日大齒科を何なく敗つた本校は破竹の勢を以て對拓殖大學戦に臨みました。

我軍奮戦又奮戦美技相次ぎ各ゲゲームは進みました。

六月三日の夜來の雨も名残りなく晴れ絶好の庭球日和でありました。午前拾時より試合開始、我軍最初より優勢を示し忽ち明薬の陣容を亂し終始敵を押し

校歌募集

左の規定により、校歌々詞を募集いたします。卒業、在校を問はず、母校のために、奮つて應募して下さい。

一、柏木の新校舎に移りて後歌ふ可きものごす

- 一、期日 九月二十日まで
- 一、賞金 一等 金二十圓
- 二等 金十圓
- 三等 金五圓
- 佳作 (十名) 紀念品

獨逸メルク社嚴撰

生藥標本 二七七種

硝子筒入セルロイド蓋付

- 大型 高サ 十吋 徑三吋四分ノ一 一〇五種
- 中型 同 七吋 同二吋二分ノ一 七八種
- 小型 同 五吋 同一時二分ノ一 九四種

特價 四百圓也

新鮮にして個有の香氣及色相を保存す標本とし將又含有性分研究用として適切な

東京市日本橋區本石町三ノ八

化學問屋 小島義忠商店

電話日本橋 (24) 一七五六番 一七五七番

○現品弊店に陳列してありますから御覽下さい
○品種明細書入用の方は御申込下さい

東京藥學專門學校御制服御用達

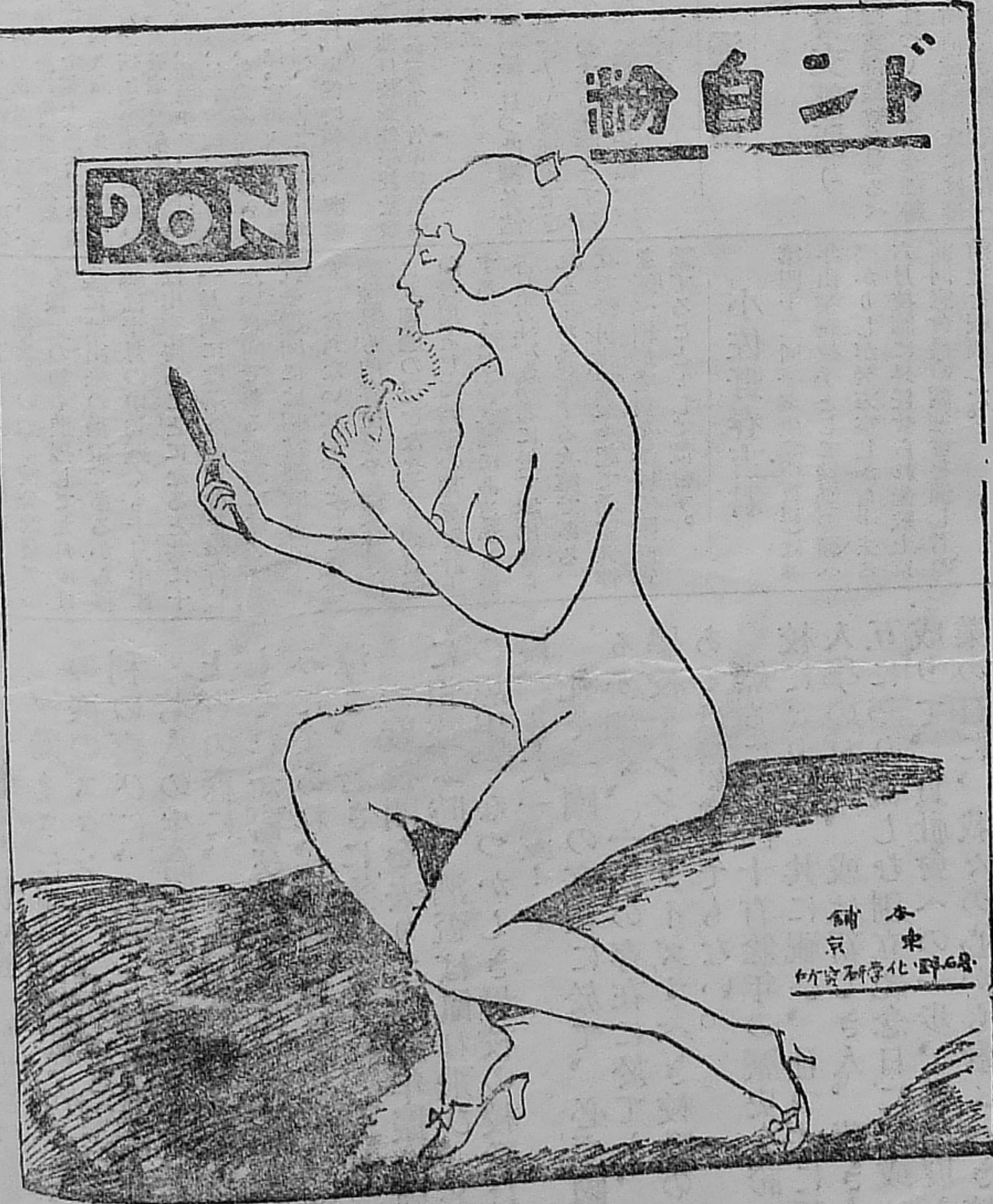
中野屋洋服店

下谷區谷中町五番地 東京藥學專門學校前

理化學分析 製煉用機械

加藤貫々舎

本店 下谷區上野花園町十三 出張所 東京藥學專門學校内



株式會社東京出羽所
駒込町一八五
下車坂町二七星田紙店方
中橋廣小路ヲチウム製藥内

商標 登録

リボン印

歌橋亞鉛華絆創膏

酸化亞鉛 二一・%含有

罐入 長〇・九一M
筒入 幅一七・八Cm
徳用
六ヤード入

特徴

粘着力強靱	耐久力優秀	絶對無刺戟
-------	-------	-------

東京南品川

歌橋製藥所

電話 高輪 (44) 二九一番
東京 三三三二番

脚氣(衝心型、浮腫型、心臟型、
麻痺型、妊娠並に產褥脚氣)に

オリザニン

ORYZANIN

オリザニンを脚氣患者に與ふれば(注射又は内服)先づ食慾増進し、脈搏減少し呼吸減じ、尿量増加し、血壓上昇し速かに治癒につく、而も脚氣の原因療法なるが故に效果的確なり

オリザニンは、世界に於けるビタミンBの始祖にして又本邦學界に於けるビタミンBの標準品として重用せらる

オリザニンは效力常に一定し、且、永久的に不變なり。故に何時にても信頼し、安じて應用し得べし

(實驗報告集送呈)

粉末、錠劑、液劑、越幾斯劑
及注射液の各種あり

三共株式會社

本社 東京 室町
出張所 大阪、臺北、紐育